

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教科：藝術

科目：美術 I

单位数： 2 单位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（１～７組：河合 茂晴）

使用教科書：（高校生美術 1（日本文教出版）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】知識を付け、技能を学んでいるか。身に着けた技能を活用している。

【思考力、判断力、表現力等】理解していること、出来ることをどう使っている。

【学びに向かう力、人間性等】知識・技能の獲得、思考・判断・表現力を身に着けることに粘り強く取り組んでいるか

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的な美しさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもつて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
1 学 期	画のデザイン 【知識及び技能】 構図や透視図法、立体感、質感の表現方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 デザインの目的を理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組む。	・構図・形体 ・透視図法 ・立体感の表現 ・質感の表現 空き缶をモチーフに、鉛筆でデザインをする。	○		○	【知識及び技能】 構図決定の注意点や透視図法、立体感や質感について理解し、描き表そうとしているか。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に描き表せているか。 【学びに向かう力、人間性等】 デザインの目的を理解し、主体的に制作に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	風景画 【知識及び技能】 構図や透視図法、空気遠近法、配色を生かした表現方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 普段の生活の中にある校内風景の中から美しさを見出し、主体的に制作に取り組む。	・構図 ・透視図法 ・空気遠近法 ・配色 校内の風景を描く（着彩）。	○		○	【知識及び技能】 構図決定の注意点や透視図法、空気遠近法、配色について理解し、描き表そうとしているか。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に描き表せているか。 【学びに向かう力、人間性等】 普段の生活の中にある校内風景の中から美しさを見出し、主体的に制作に取り組んでいるか。	○	○	○	4
	わたしの紋 【知識及び技能】 家紋のデザインの幅広さと洗練されたデザインについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に自己の表現に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 家紋を含めたシンボルマークの目的を理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組む。	・構図・構成 ・デフォルメ・単純化 家紋をモチーフに、自己の紋（シンボルマーク）をデザインする。		○	○	【知識及び技能】 家紋のデザインの幅広さと洗練されたデザインについて理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に自己の表現に生かしているか。 【学びに向かう力、人間性等】 家紋を含めたシンボルマークの目的を理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいるか。	○	○	○	12
2 学 期	自画像「わたしと○○」 【知識及び技能】 構図や立体感、質感の表現方法と適切な色づくりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 自己を見つめ、人物を描く目的を理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組む。	・構図・形体 ・立体感の表現 ・質感の表現 ・適切な色づくり 自己の頭部と、自己を象徴する○○を構成し、自画像を描く。	○		○	【知識及び技能】 構図や立体感、質感の表現方法と適切な色づくりについて理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かしているか。 また、自己を象徴する適切な「○○」を設定できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 自己を見つめ、人物を描く目的を理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいるか。	○	○	○	18
	箸置き制作 【知識及び技能】 造形における単純化、陶土の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 陶土の特性を理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組む。	・陶土の扱い方 ・単純化 ・立体の表現 テーマを設定し、陶土を素材に箸置きを制作する。	○		○	【知識及び技能】 造形における単純化、陶土の扱い方について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かしているか。 【学びに向かう力、人間性等】 陶土の特性を理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいるか。	○	○	○	10
3 学 期	鑑賞 【知識及び技能】 日本と世界の美術史について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人間が築いてきた美術文化がどう形成されてきたか理解し、ワークシートに記入する。 【学びに向かう力、人間性等】 美術史に関心を持ち、主体的に鑑賞する。	・日本美術史 ・世界美術史 日本美術史・世界美術史に関わるDVDを鑑賞し、ワークシートに記入する。			○	【知識及び技能】 日本と世界の美術史について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 人間が築いてきた美術文化がどう形成されてきたか理解し、ワークシートに記入できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 美術史に関心を持ち、主体的に鑑賞できているか。	○	○	○	2 合計 54